

## ■当協会が進める資格制度について

### ◇登録標識・路面標示基幹技能者

登録基幹技能者は、上級職長として工事施工現場における中心的役割を担い、品質・生産性の確保と若年技術者の指導・育成が主な任務となります。機材や技能者を適正に配置して、施行計画に基づいた工事の円滑化を図ります。

道路標識工事では、前後の標識との連続性、整合性や視認性の確保、設置位置の適正化などのマネージメントを行っています。

路面標示工事では、道路形状や地域の状況に応じた施工が行われるように工夫するとともに、円滑な交通が確保できるような工事体制を組んで、安全で品質に優れた工事を行っています。

#### 登録基幹技能者のメリット

経営事項審査及び公共工事の総合評価落札方式において加点評価されます。

登録標識・路面標示基幹技能者数県別一覧表

都 県 名	標 識	標 示	標識・標示	合 計
東 京 都	44	41	17	102
茨 城 県	13	19	14	46
栃 木 県	3	2	1	6
群 馬 県	41	31	26	98
埼 玉 県	28	41	30	99
千 葉 県	13	17	5	35
神 奈 川 県	21	30	13	64
山 梨 県	11	10	6	27
長 野 県	16	20	9	45
合 計	190	211	121	522
北 海 道	4	65	22	91
東 北	40	100	47	187
関 東	190	211	121	522
北 陸	23	18	34	75
中 部	84	127	74	285
関 西	39	76	34	149
中 国	17	36	31	84
四 国	33	37	49	119
九 州	45	63	52	160
沖 縄	6	0	9	15
総 合 計	481	733	473	1,687

## ◇道路標識点検診断士

道路標識の設置、点検及び診断に関する専門的知識及び技術を有する資格であり、道路標識の老朽化対策や効率的な管理・更新に寄与するために、一般社団法人全国道路標識・標示業協会が、従来の道路標識設置・診断士制度を発展的に解消したうえで、平成30年4月に創設した資格です。

この資格は平成31年1月31日、国土交通省から小規模附属物分野の点検、診断業務において技術者資格として登録されました。

当協会が実施する道路標識点検診断士研修を受講し、研修最終日に実施する資格試験に合格することが必要です。

合格後に全標協へ登録認定申請を行い、審査委員会の審査を経て、全標協会長の登録認定を受けることによって、初めて資格を取得し、道路標識点検診断士と称することができます。

### 道路標識点検診断士のメリット

点検診断士では、公共工事の総合評価落札方式の入札において加点評価されます。

道路標識点検診断士数県別一覧表

都 県 名	資格保有者数
東 京 都	57
茨 城 県	7
栃 木 県	2
群 馬 県	31
埼 玉 県	27
千 葉 県	18
神 奈 川 県	33
山 梨 県	11
長 野 県	13
合 計	199

名

⇒

支 部 名	資格保有者数
北 海 道	12
東 北	47
関 東	199
北 陸	48
中 部	107
関 西	65
中 国	36
四 国	67
九 州	51
沖 縄	13
総 合 計	645

名

## ◇路面標示施工技能士

職業能力開発促進法に基づく国家資格で、都道府県職業能力開発協会が実施する技能検定試験(学科試験及び実技試験)に合格した者に厚生労働大臣から「技能士」の資格が与えられます。

路面標示施工技能士は、公共事業及び民間事業において、工事施工の中核として大きな役割を果たし、その技術力は高い評価を受けています。昭和61年(1986年)以来これまでに約1万5千人の技能士が誕生しています。

全標協からは路面標示施工に精通、熟練した人材を中央技能検定委員として学科試験問題の作成に携わっているほか、各地で実施される実技試験の運営などの協力も当初から継続して行っています。

### 路面標示施工技能士のメリット

資格保有者は建設業法で技術者資格として評価され、「主任技術者」資に位置づけられるとともに、経営事項審査における加点対象となります。また、建設業の許可基準で定める「営業所の専任技術者」になることが認められています。

更に、登録基幹技能者講習(路面標示)を受講するための要件の一つにもなっています。

## 路面標示施工技能士検定 年度別受験者数の推移

データ提供： 東京・神奈川・埼玉

年 別		溶融ペイント		加熱ペイント	
		受験者	合格者数	受験者	合格者数
平成	22年	102	76	4	4
	23年	54	41		
	24年	54	46		
	25年	76	63		
	26年	61	41		
	27年	63	40		
	28年	85	51		
	29年	80	60		
	30年	72	42		
令和	元年	68	34		
	2年	中 止			
	3年	117	79		
	4年	73	10月発表		

単位：名

### ◎ 令和3年度までの合格者累計

・溶融ペイントハンドマーカー		・加熱ペイントマシンマーカー	
受験者数	22,900 名	受験者数	3,856 名
合格者数	12,892 名	合格者数	2,090 名
— 中央職業能力開発協会調べ —			

詳細については全標協本部のホームページをご覧ください。

## ■道路標識データベースについて

道路標識データベースの構築は全標協として必要不可欠なものとして従来より検討を重ねて参りましたが、道路標識の新設、撤去、移設などの情報を会員の皆様から受入れられる専用ソフトの開発をし、その態勢を整えるまでに至りました。

また、本システムを利用することによって(一財)日本デジタル道路地図協会と業務契約し、カーナビゲーションシステムに反映するための道路標識更新情報を提供しております。

会員の皆様から寄せられる情報によりこのシステムが拡充されるので、道路標識情報のご提供を宜しく申し上げます。

詳細については全標協本部業務部へご照会下さい。

## ■全標協団体保険制度について

全標協では、会員の皆様に格安な保険を提供するために三井住友海上火災保険(株)と提携し、「請負業者賠償責任保険」「生産物賠償責任保険(PL保険)」「業務災害補償保険」の取り扱いを行っています。

年間包括契約のため煩雑な加入事務負担を軽減でき、かけ忘れもなく安心です。団体保険なので割引があり、スケールメリットによって加入者が増えれば増えるほど保険料が安くなります。

特に「請負業者賠償責任保険」につきましても、個人加入をされている法人の場合にはかなりの経費節減が期待できます。

併せて三井住友海上「経営サポートセンター」も利用できます。

詳細については全標協本部ホームページでご確認下さい。